



「道具の使い方～Part1」

便利な道具になるか、危険な道具になるかは使い次第です。
「どんな作業環境か、この道具がこの場所で必要か？」
作業開始前の慎重な見極めこそ、事故防止の第一歩です。

令和4年9月（通算第117号）

発行：
公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

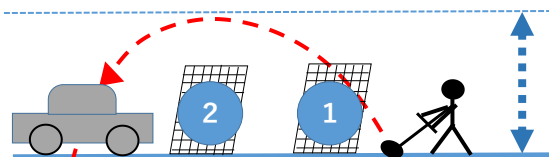
この道具、この場所で使うの？!

刈払機

◀学校、公園など、近くに人がいませんか？

◀駐車場、自動車、道路、建物家屋の近くではありませんか？

- ・石を飛ばさずに刈払機を操作することは非常に困難です
- ・刈払機の飛び石は、様々な角度・方向に10m以上（30m以上飛ぶことも）飛ぶため、**操作者を中心に半径10～15mの作業領域**の確保が必要です
- ・防護ネットは、操作者の**前方**左側を優先し、操作者と一緒に動かししょう
- ・アーチ状に飛ぶ石に対しては、**②の位置ではネットを飛び越えます**。
最大高に達する前に防護ネットで止められる**①の位置に**、立てましよう



自走式草刈機（ハンマーナイフア）

◀急な傾斜地（法面）での使用は、機械を支えきれません

- ・自走式草刈機は、20度程度（製品差あり）の傾斜を超えると安定を失います
- ・機械が法面をずり落ちていく、機械の自重で転覆し作業者が巻き込まれる、機械の下敷きになるなど、多くの危険を含みます（全て実例）
- ・そもそも法面は、安定して足場を確保することが難しい危険箇所です